

オンライン・データベース利用案内

図書館では、新聞記事データベースをはじめ、利用価値の高いデータベース9種を導入しています。

学内ネットワークに接続している端末からのみ利用できます。学外からの利用はできません(CiNiiを除く)。

なお、それぞれ同時接続数の制限があります。利用終了時は必ず「ログアウト」をクリックしてください。

【各データベースの紹介】

①朝日新聞クロスサーチ

朝日新聞の記事を検索できる国内最大級の新聞記事データベースです。1879(明治12)年から今日までの新聞記事を検索できます。沖縄を除く全地域面を網羅、朝刊は午前9時頃に収録(東京本社版)されます。AERA(1988～)、週刊朝日(2000～)、知恵蔵(毎年更新)も収録しています。また、朝日新聞人物データベースも利用できます(同時接続数:2)。

※【学外アクセス可】⇒学外アクセス用のID・パスワードをユニバーサルパスポートに掲載しています。

②カナロコ(神奈川新聞)

カナロコとは、神奈川新聞社の提供する神奈川新聞ニュースサイトです。地域面の記事を中心に過去10年分の電子版記事を閲覧できます。

*掲載日がわかれば、「神奈川新聞WEBマイクロフィルム」により、「横浜貿易新報(1890～)」時代から1カ月前までの新聞紙面を表示・印刷できます(同時接続数:1)。

◇図書館ホームページ⇒「データベース」をクリック



⇒①朝日新聞クロスサーチ(朝日新聞記事検索DB)



⇒②カナロコ(神奈川新聞地域面)



③CiNii Research

従来のCiNii Articles (国内の学協会誌や研究紀要など約5,200万件の論文情報を収録)と CiNii Books (大学図書館の総合目録)が2022年4月より、CiNii Researchとして統合検索できるようになりました。研究紀要など各大学の機関リポジトリで公開されている論文へのリンクがあります(同時接続数:無制限/国立情報学研究所)。

⇒③ CiNii Research (国内図書・文献検索DB)



④J-DreamⅢ

日本最大の科学技術文献データベースで、国内外の科学技術、医学・薬学関係の文献を検索できます。日本語の抄録・キーワードが付与され、日本語で検索できるのがポイントです。

(同時接続数:2/ジー・サーチ株)

【その他のデータベース】

⑤国会図書館デジタル化資料送信サービス

国会図書館がデジタル化した約150万点の図書、雑誌記事、古典籍、学位論文を閲覧できます。

※図書館内専用端末のみ閲覧可/端末の起動、印刷は図書館員が行います。

【法律データベース】

⑥LEX/DBインターネット (日本法)

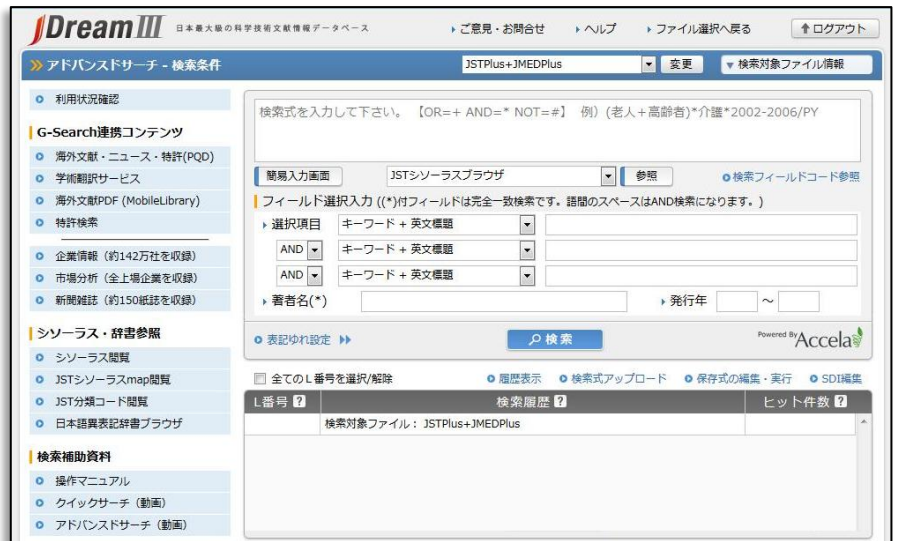
⑦判例秘書INTERNET(")

⑧JURIS online (ドイツ法)

⑨Lexis+ (米国法)

※Lexisは、主要英字新聞を検索できます。パスワード発行可。詳細は大学図書館へお問い合わせください。

⇒④ J-DreamⅢ (科学文献検索DB)



⇒⑥ Lex/DBインターネット (法律DB)

